

一般質問通告書

令和5年 北秋田市議会 12月定例会

順位	1-4	質問者	7	福岡 由巳	(無会派)	出席を要求する理事者	市長
質問事項及び要旨						理事者の答弁	
1. 鳥獣被害防止対策の徹底について ①熊被害防止対策について 1) 今シーズンは鳥獣、とりわけ熊による人的物的被害が甚大であったが、これに対して当局はどのように対応したか。特に、人的被害が増大する中で拡大抑止のため防災ラジオの活用以外どのように対応したか。 2) 今後、特に人的被害の減少に努め、農業被害を軽減するために具体策として、人身被害防止策、緩衝地帯の拡大、農業従事者への支援、猟友会への支援及び会員の拡大、解体工場の設置などについて計画の改正と市独自としても大幅に予算を増額すべきでないか。 2. 市制20周年記念事業について ①市史編さん事業を開始すべきことについて 1) 令和7年3月22日は市制20周年の記念すべき日である。記念事業は具体的になっているものと考えているが、北秋田市史編さんについての計画はいまだ明らかにされていない。 最近では、市町村史を編さんしていない自治体は少ないのではないかと考える。市民の名誉のために市史について共有すべきと考える。編さん体制早期確立、早期取り組みのためにこの20周年記念を契機に具体化すべきと考えるが、市長の意気込みはいかがか。							

3. 森吉山県立自然公園の国立・国定公園昇格の推進について

①森吉山推進室の業務内容について

森吉山県立自然公園の国立・国定公園昇格にむけて、市当局のこれまでの動きは、環境省の環境調査後の意向を待つとの考え方で推移している。

しかし、環境省は行政に限らず地元からの要望があれば早めに提出して欲しいということである。このことから早期に市長の国・県への要望書提出が求められる。そこで、今回の「森吉山推進室」はそのための機構ととらえているが、いずれにしても森吉山県立自然公園は、間違いなく十和田八幡平国立公園に編入かまたは森吉山新規国定公園に昇格するものと確信する。そのためには、決して環境省の方針待ちの組織ではなく、昇格を見据えた方向性を先取りし、「森吉山振興計画」といったものをまとめあげる力量を持たなければならないと考える。専門性のある推進室の設置に期待し、次の点について尋ねる。

- 1) 推進室の組織体制は職員以外の外部からの招致もあるか。
- 2) 運営は、市民団体を交えた部会方式の運営はいかがか。
- 3) 推進室で想定されている事業内容は何か。

4. 森吉山荘の早期再開について

①再開業に向けて明確な方針を示すべきことについて

森吉山の昇格機運が高まる最中において、一方では奥森吉の宿泊拠点であり、10名以上の雇用の場であり、黒字経営で他に引けを取らない宿泊施設であった森吉山荘が、未だに人の気配が消えた廃屋同然の姿をさらしていることは無念であり耐えがたいものがある。

これまでアンケート回答にも見られるように、プロポーザル募集要項は、1億円の預託金、宿泊料金の自由度なし、湯量激減の温泉施設などから応募者が現れるはずがなかった。

森吉山の昇格と宿泊施設の確保は自然公園の利用増進を図るうえで両輪の要であるという観点から、以下の点を含め森吉山荘の早期再開業を求める。

- 1) 設備の劣化が進む前に、民間譲渡ありきではなく指定管理者の運営も含めた方針を示すことを求めるがいかがか。
- 2) 既存の温泉井戸をボーリングするか、または新たなボーリングで温泉水を確保するか、新年度予算に確たる方針を示す必要があると考えるがいかがか。